

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2022年1月～3月期)



戸越銀座支店

目次

景況D I レポート	・・・ 1
製造業	・・・ 2
卸売業	・・・ 3
小売業	・・・ 4
サービス業	・・・ 5
建設業	・・・ 6
不動産業	・・・ 7
特別調査	・・・ 8
各種統計指数	・・・ 9

第57号 2022年5月

景況DIレポート

2022年1月～3月期（第4四半期） NO. 57

調査方法について

- ①製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。
- ②当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。
- ③2021年度第4四半期を2021年度第3四半期と比較した実績と、2022年度第1四半期と比較した見通しを調査したものです。
- ④調査依頼先数は541先で、回答をいただいた先は518先です。
- ⑤特別調査では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	80	14	123	30	16	19	282
5～9	47	9	12	14	15	3	100
10～19	35	5	9	11	6	2	68
20～29	8	2	3	3	3	0	19
30～49	11	2	1	2	4	0	20
50～99	16	3	0	3	1	0	23
100以上	5	0	0	0	1	0	6
計	202	35	148	63	46	24	518

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40%－30%」＝10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、『ビールは夏に売れる』『ボーナス時期には消費が増加する』等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

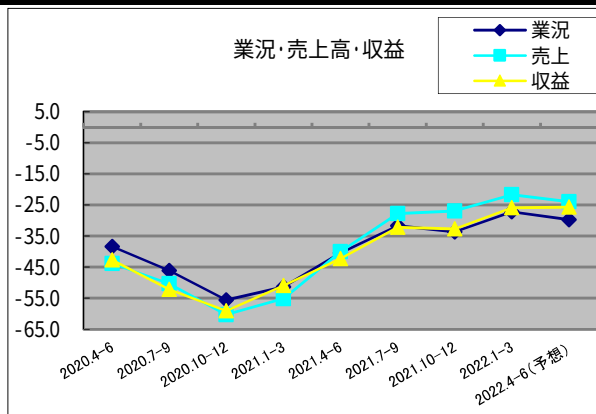
今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-27.2	-46.3	-55.1	-30.3	-28.2	-1.2	-35.7
売上	-21.7	-49.3	-43.4	-23.3	-34.2	11.8	-29.5
収益	-25.9	-50.4	-43.0	-29.7	-36.4	8.8	-32.2

今期のコメント

製造業	業況・売上・収益ともに改善
卸売業	業況・売上・収益ともにやや悪化
小売業	業況・収益はやや悪化、売上は悪化
サービス業	業況は改善、売上はやや悪化、収益は悪化
建設業	業況は悪化、売上・収益ともに大幅に悪化
不動産業	業況は改善、売上・収益ともに大幅に改善

期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6(予想)
業況	-38.4	-46.1	-55.6	-51.4	-40.4	-31.7	-33.6	-27.2	-29.7
売上	-43.8	-50.3	-60.3	-55.2	-40.0	-27.8	-26.9	-21.7	-24.0
収益	-42.7	-52.2	-59.1	-51.0	-42.3	-32.2	-32.7	-25.9	-25.7
販売価格	-11.8	-11.1	-13.7	-11.1	-9.4	-11.3	-7.1	-5.1	-5.9
原材料価格	0.2	1.8	-2.1	3.4	8.1	3.9	9.0	12.4	10.7
借入実施	22.1	32.2	26.8	24.1	21.6	12.7	16.7	14.1	14.7
設備実施	14.0	12.6	10.4	9.0	9.7	7.3	7.4	6.4	7.0



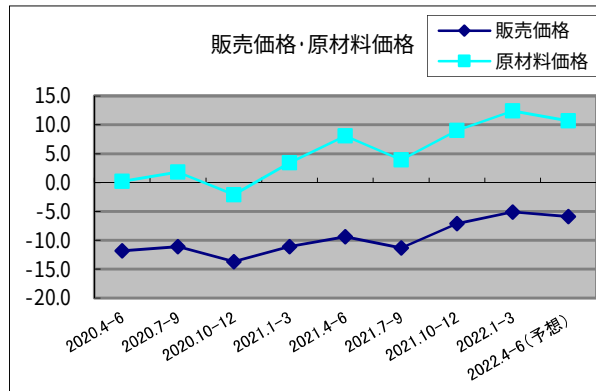
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、 $\Delta 27.2$ となり、対前年同期比では24.2ポイント改善、前期比では6.4ポイント改善した。

売上DI(増加－減少)については $\Delta 21.7$ と、対前年同期比では33.5ポイント改善、前期比でも5.2ポイント改善している。

収益DI(増加－減少)については $\Delta 25.9$ と、対前年同期比で25.1ポイント改善、前期比でも6.8ポイント改善した。

当期は、業況・売上・収益ともに改善した。

来期は、業況・売上ともにやや悪化し、収益はほぼ横ばいと予想している。

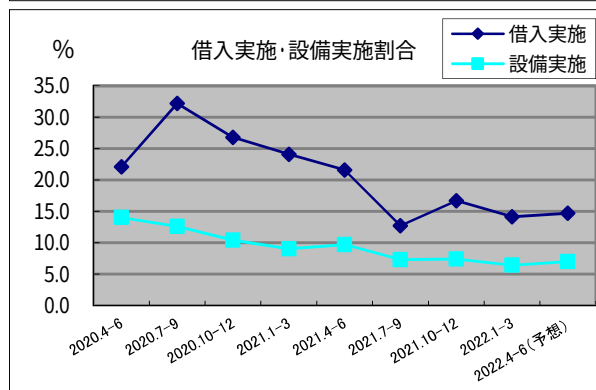


今期の販売価格DI(上昇－下降)は、 $\Delta 5.1$ と対前年同期比で6.0ポイント上昇し、前期比でも2.0ポイント上昇した。

今期の原材料価格DI(上昇－下降)は、 $\Delta 12.4$ と対前年同期比で9.0ポイント上昇し、前期比では3.4ポイント上昇した。

当期は、販売価格・原材料価格ともにやや上昇した。

来期については、販売価格はほぼ横ばい、原材料価格はやや低下すると予想している。

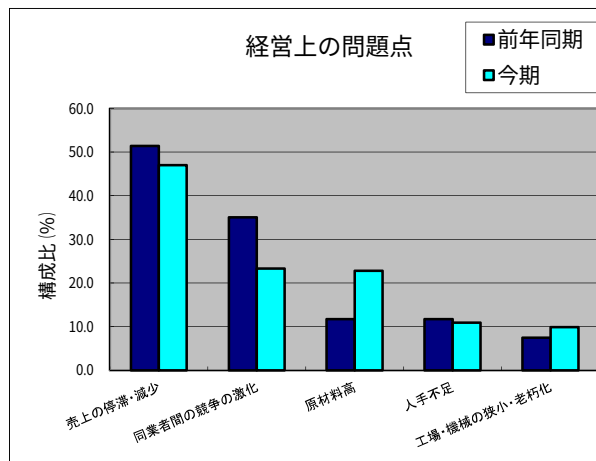


借入実施の割合は、前期16.7%から今期14.1%と2.6ポイント減少した。

設備実施の割合については、前期7.4%から今期6.4%と1.0ポイント減少した。

当期は、借入実施・設備実施ともにやや減少した。

来期の予想では、借入実施割合は14.7%と0.6ポイント増加し、設備実施割合については7.0%と0.6ポイント増加すると予想している。



経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。

第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期51.4%、今期47.0%となっている(4.4ポイント減少)。

第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期35.0%、今期は23.3%となっている(11.7ポイント減少)。

第3位は「原材料高」である。前年同期11.7%、今期22.8%となっている(11.1ポイント増加)。

第4位は「人手不足」である。前年同期11.7%、今期10.9%となっている(0.8ポイント減少)。

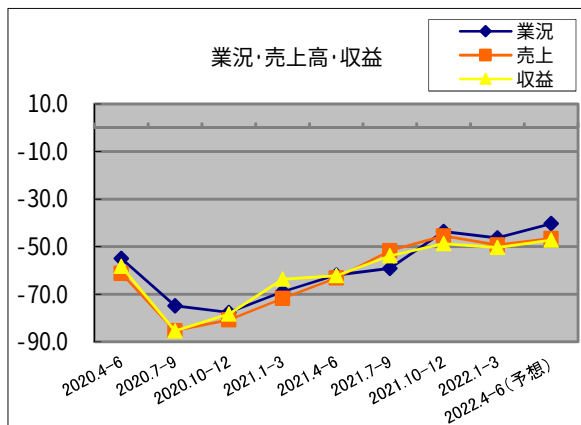
第5位は「工場・機械の狭小・老朽化」である。前年同期7.5%、今期9.9%となっている(2.4ポイント増加)。

卸売業

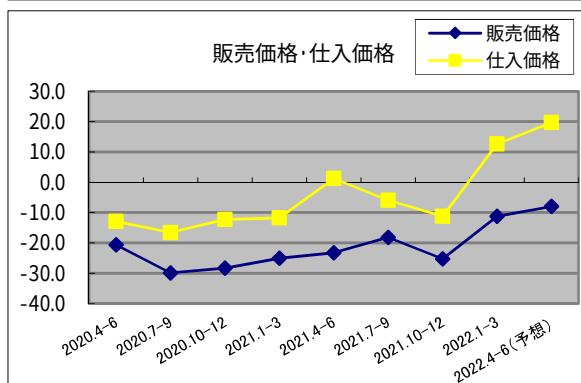
調査先有効回答先数 35先

業況・売上・収益ともにやや悪化

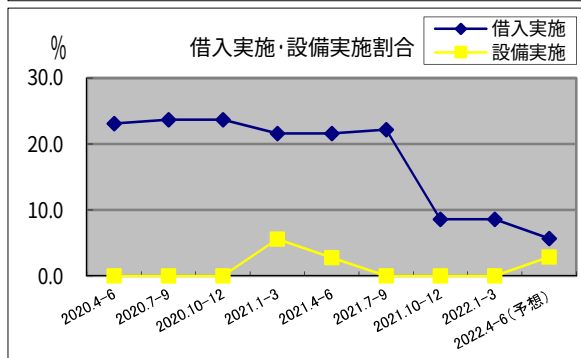
期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6(予想)
業況	-54.9	-74.8	-77.6	-68.9	-61.9	-59.1	-43.6	-46.3	-40.3
売上	-61.2	-85.3	-80.7	-71.8	-63.1	-51.7	-45.5	-49.3	-46.6
収益	-58.3	-85.4	-78.4	-63.7	-62.2	-53.8	-48.7	-50.4	-47.2
販売価格	-20.6	-29.9	-28.3	-25.1	-23.3	-18.2	-25.3	-11.2	-8.0
仕入価格	-12.9	-16.6	-12.3	-11.7	1.2	-5.9	-11.2	12.6	19.7
借入実施	23.1	23.7	23.7	21.6	21.6	22.2	8.6	8.6	5.7
設備実施	0.0	0.0	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	2.9



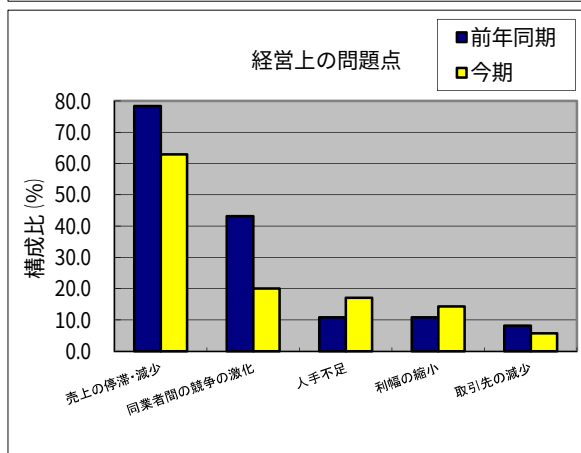
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、 $\Delta 46.3$ と対前年同期比で22.6ポイント改善、前期比では2.7ポイント悪化した。
 売上DI(増加－減少)については、 $\Delta 49.3$ と対前年同期比では22.5ポイント改善、前期比では3.8ポイント悪化した。
 収益DI(増加－減少)については $\Delta 50.4$ と対前年同期比で13.3ポイント改善、前期比では1.7ポイント悪化した。
 当期は、業況・売上・収益ともにやや悪化した。
 来期は、業況は改善し、売上・収益ともにやや改善すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇－下降)は、 $\Delta 11.2$ と対前年同期比で13.9ポイント上昇し、前期比では14.1ポイント上昇した。
 今期の仕入価格DI(上昇－下降)は、12.6と対前年同期比で24.3ポイント上昇し、前期比では23.8ポイント上昇した。
 当期は、販売価格は上昇し、仕入価格も大幅に上昇した。
 来期は、販売価格はやや上昇し、仕入価格も上昇すると予想している。



借入実施の割合は、前期8.6%から今期も変わらず横ばいであった。
 設備実施の割合については、前期0.0%から今期も変わらず横ばいであった。
 当期は、借入実施・設備実施ともに横ばいであった。
 来期の予想では、借入実施割合は5.7%と2.9ポイント減少し、設備実施割合については2.9%と2.9ポイント増加すると予想している。



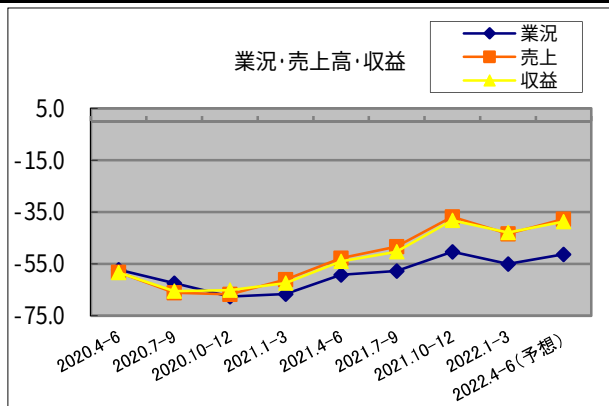
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期78.4%、今期62.9%となっている(15.5ポイント減少)。
 第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期43.2%、今期20.0%となっている(23.2ポイント減少)。
 第3位は「人手不足」である。前年同期10.8%、今期17.1%となっている(6.3ポイント増加)。
 第4位は「利幅の縮小」である。前年同期10.8%、今期14.3%となっている(3.5ポイント増加)。
 第5位は「取引先の減少」である。前年同期8.1%、今期5.7%となっている(2.4ポイント減少)。

小売業

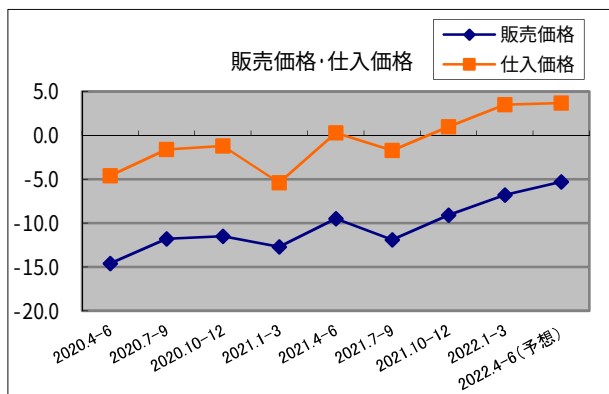
調査先有効回答先数 148先

業況・収益はやや悪化、売上は悪化

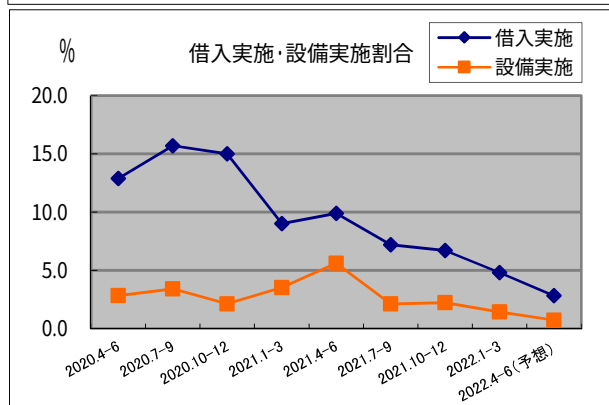
期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6 (予想)
業況	-57.3	-62.4	-67.7	-66.6	-59.2	-57.8	-50.4	-55.1	-51.3
売上	-58.3	-66.1	-66.8	-61.1	-52.8	-48.4	-36.9	-43.4	-37.8
収益	-58.4	-65.6	-65.2	-62.5	-54.0	-50.3	-38.2	-43.0	-38.8
販売価格	-14.6	-11.8	-11.5	-12.7	-9.5	-11.9	-9.1	-6.8	-5.3
仕入価格	-4.6	-1.6	-1.2	-5.4	0.3	-1.7	1.0	3.5	3.7
借入実施	12.9	15.7	15.0	9.0	9.9	7.2	6.7	4.8	2.8
設備実施	2.8	3.4	2.1	3.5	5.6	2.1	2.2	1.4	0.7



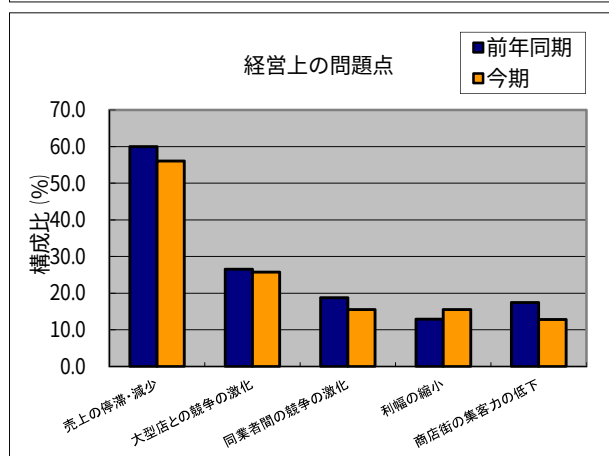
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、△55.1で対前年同期比で11.5ポイント改善、前期比では4.7ポイント悪化した。
 売上DI(増加－減少)については△43.4と対前年同期比で17.7ポイント改善、前期比では6.5ポイント悪化した。
 収益DI(増加－減少)については△43.0と、対前年同期比で19.5ポイント改善、前期比では4.8ポイント悪化した。
 当期は、業況・収益はやや悪化し、売上も悪化した。
 来期は、業況・売上・収益ともにやや改善すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇－下降)は、△6.8と対前年同期比で5.9ポイント上昇、前期比でも2.3ポイント上昇した。
 今期の仕入価格DI(上昇－下降)は、3.5と対前年同期比で8.9ポイント上昇、前期比でも2.5ポイント上昇した。
 当期は、販売価格・仕入価格ともにやや上昇した。
 来期については、販売価格はやや上昇し、仕入価格はほぼ横ばいと予想している。



借入実施の割合は、前期6.7%から今期4.8%と1.9ポイント減少した。
 設備実施の割合については、前期2.2%から今期1.4%と0.8ポイント減少した。
 当期は、借入実施・設備実施ともにやや減少した。
 来期の予想では、借入実施の割合は2.8%と2.0ポイント減少し、設備実施の割合については0.7%と0.7ポイント減少すると予想している。



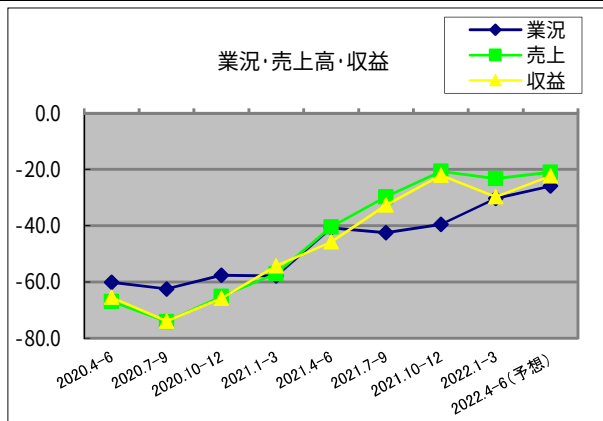
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期60.0%、今期56.1%となっている(3.9ポイント減少)。
 第2位は「大型店との競争の激化」である。前年同期26.5%、今期25.7%となっている(0.8ポイント減少)。
 第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期18.7%、今期15.5%となっている(3.2ポイント減少)。
 第4位は「利幅の縮小」である。前年同期12.9%、今期15.5%となっている(2.6ポイント増加)。
 第5位は「商店街の集客力の低下」である。前年同期17.4%、今期12.8%となっている(4.6ポイント減少)。

サービス業

調査先有効回答先数63先

業況は改善、売上はやや悪化、収益は悪化

期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6(予想)
業況	-60.2	-62.5	-57.6	-57.9	-40.8	-42.5	-39.6	-30.3	-25.9
売上	-67.0	-74.1	-65.2	-57.1	-40.4	-29.8	-20.7	-23.3	-21.0
収益	-65.5	-74.0	-65.9	-54.4	-45.8	-32.7	-22.1	-29.7	-22.3
料金価格	-21.6	-17.5	-16.2	-8.9	-4.0	-8.4	2.3	2.2	1.5
材料価格	-15.0	-7.3	-8.3	-5.2	1.2	-0.3	8.4	9.1	7.5
借入実施	25.8	24.2	32.8	20.0	17.2	8.1	11.1	9.5	9.5
設備実施	1.5	1.6	7.8	3.1	3.1	0.0	0.0	3.2	6.5



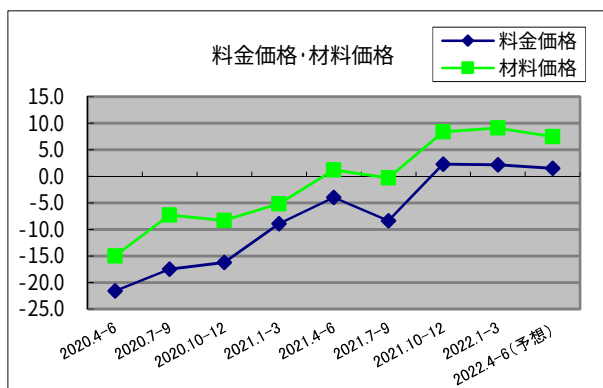
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、△30.3と対前年同期比で27.6ポイント改善、前期比で9.3ポイント改善した。

売上DI(増加－減少)は△23.3となり、対前年同期比で33.8ポイント改善、前期比では2.6ポイント悪化した。

収益DI(増加－減少)については△29.7と、対前年同期比では24.7ポイント改善し、前期比では7.6ポイント悪化した。

当期、業況は改善し、売上はやや悪化し収益も悪化した。

来期については、業況・売上はやや改善し、収益も改善すると予想している。

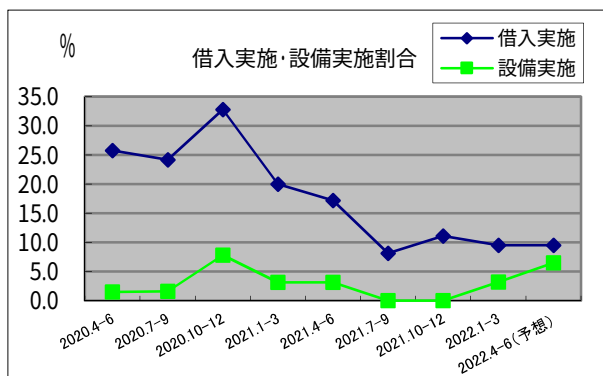


今期の料金価格DI(上昇－下降)は、2.2と対前年同期比では11.1ポイント上昇、前期比では0.1ポイント減少した。

今期の材料価格DI(上昇－下降)は、9.1と対前年同期比で14.3ポイント上昇、前期比で0.7ポイント上昇した。

当期は、料金価格はほぼ横ばいで材料価格はわずかに上昇した。

来期については、料金価格・材料価格ともにやや低下すると予想している。

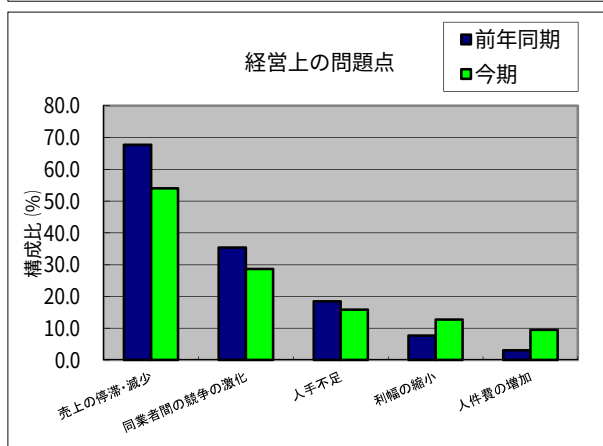


借入実施の割合は、前期11.1%から今期9.5%と1.6ポイント減少した。

設備実施の割合については、前期0.0%から今期3.2%に3.2ポイント増加した。

当期は、借入実施はやや減少し設備実施はやや増加した。

来期の予想では、借入実施割合は9.5%と今期と変わらず、設備実施割合は6.5%と3.3ポイント増加すると予想している。



経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。

第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期67.7%、今期54.0%となっている(13.7ポイント減少)。

第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期35.4%、今期28.6%となっている(6.8ポイント減少)。

第3位は「人手不足」である。前年同期18.5%、今期15.9%となっている。(2.6ポイント減少)

第4位は「利幅の縮小」である。前年同期7.7%、今期12.7%となっている。(5.0ポイント増加)

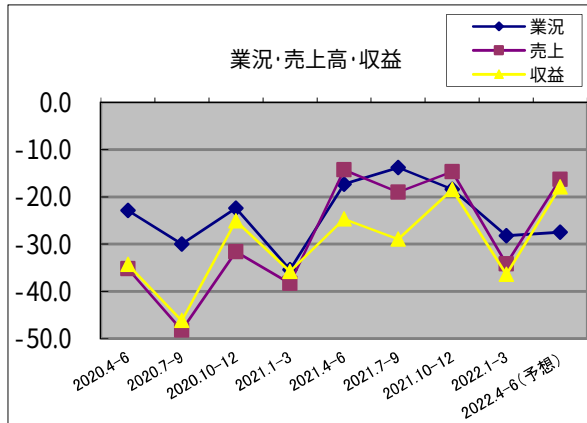
第5位は「人件費の増加」である。前年同期3.1%、今期9.5%となっている(6.4ポイント増加)。

建設業

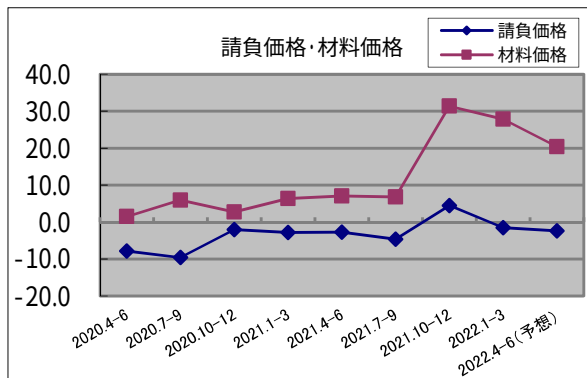
調査先有効回答先数 46先

業況は悪化、売上・収益ともに大幅に悪化

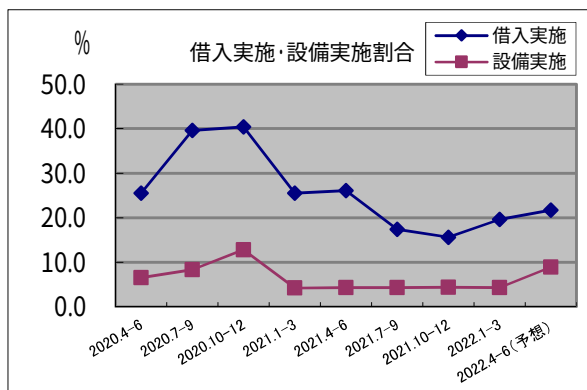
期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6(予想)
業況	-22.9	-30.0	-22.4	-35.4	-17.3	-13.8	-18.4	-28.2	-27.5
売上	-35.2	-48.2	-31.6	-38.3	-14.3	-19.0	-14.7	-34.2	-16.3
収益	-34.3	-46.2	-25.1	-35.8	-24.7	-29.0	-18.5	-36.4	-17.9
請負価格	-7.8	-9.6	-2.0	-2.8	-2.7	-4.6	4.5	-1.5	-2.4
材料価格	1.5	5.9	2.7	6.4	7.1	6.8	31.4	27.9	20.4
借入実施	25.5	39.6	40.4	25.5	26.1	17.4	15.6	19.6	21.7
設備実施	6.5	8.3	12.8	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	8.9



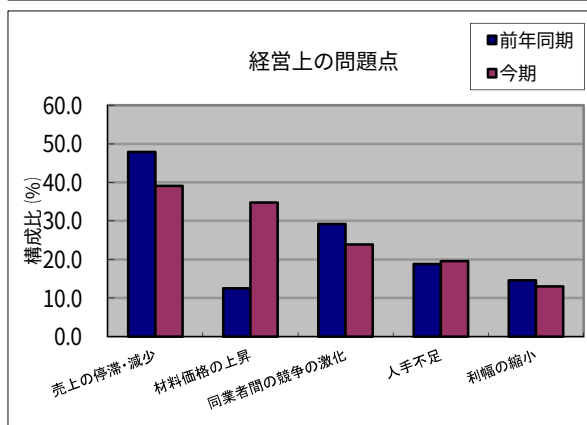
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、 $\Delta 28.2$ と対前年同期比で7.2ポイント改善し、前期比では9.8ポイント悪化した。
 売上DI(増加－減少)については、 $\Delta 34.2$ と対前年同期比で4.1ポイント改善し、前期比では19.5ポイント悪化した。
 収益DI(増加－減少)については、 $\Delta 36.4$ と対前年同期比で0.6ポイント悪化し、前期比でも17.9ポイント悪化した。
 当期は、業況は悪化し、売上・収益ともに大幅に悪化した。
 来期においては、業況はわずかに改善し、売上・収益ともに改善すると予想している。



今期の請負価格DI(上昇－下降)は、 $\Delta 1.5$ と対前年同期比で1.3ポイント上昇し、前期比で6.0ポイント低下した。
 今期の材料価格DI(上昇－下降)は27.9と対前年同期比で21.5ポイント上昇、前期比で3.5ポイント低下した。
 当期は、請負価格は低下し、材料価格もやや低下した。
 来期については、請負価格はわずかに低下し、材料価格も低下すると予想している。



借入実施の割合は、前期15.6%から今期19.6%に4.0ポイント増加した。
 設備実施の割合については、前期4.4%から今期4.3%と0.1ポイント減少した。
 当期は、借入実施はやや増加し、設備実施はほぼ横ばいとなった。
 来期の予想では、借入実施割合は21.7%と1.1ポイント増加し、設備実施割合は8.9%と4.6ポイント増加すると予想している。



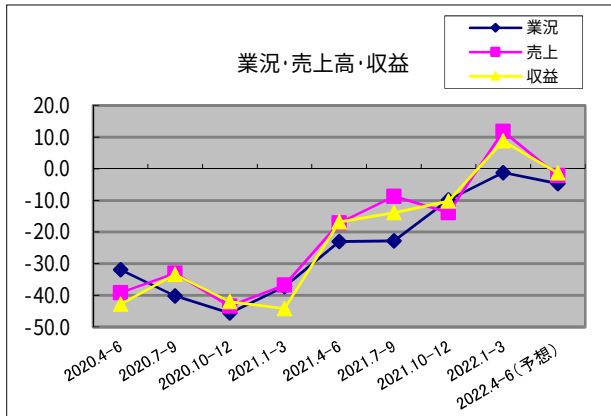
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期47.9%、今期39.1%となっている(8.8ポイント減少)。
 第2位は「材料価格の上昇」である。前年同期12.5%、今期34.8%となっている(22.3ポイント増加)。
 第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期29.2%、今期23.9%となっている(5.3ポイント減少)。
 第4位は「人手不足」である。前年同期18.8%、今期19.6%となっている(0.8ポイント増加)。
 第5位は「利幅の縮小」である。前年同期14.6%、今期13.0%となっている(1.6ポイント減少)。

不動産業

調査先有効回答先数 24先

業況は改善、売上・収益ともに大幅に改善

期	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6 (予想)
業況	-31.9	-40.2	-45.6	-37.3	-23.0	-22.8	-9.8	-1.2	-4.7
売上	-39.2	-33.0	-43.4	-36.8	-17.1	-8.7	-13.9	11.8	-2.2
収益	-42.8	-33.4	-42.0	-44.2	-16.8	-13.9	-10.3	8.8	-1.3
販売価格	-8.6	-8.4	-20.0	-0.1	8.7	9.5	16.6	14.0	21.6
仕入価格	-9.7	-3.9	-13.2	5.8	4.2	13.7	19.7	16.2	19.4
在庫数量	-0.5	-10.1	0.6	1.2	-4.0	-4.2	-10.2	-14.9	-10.8
資金繰り	-12.5	-17.0	20.0	0.7	4.4	6.8	8.2	7.9	5.2



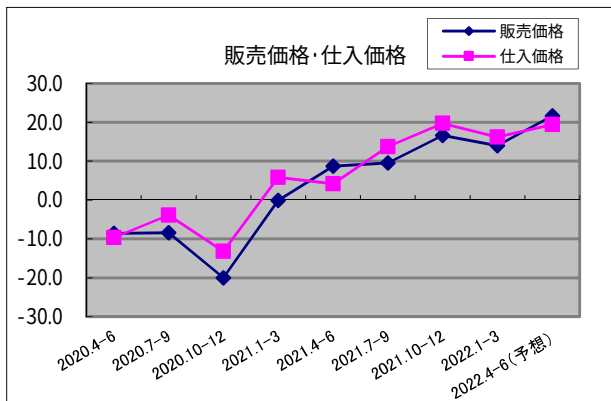
2022年1月～3月期の業況DI(良い－悪い)は、△1.2と対前年同期比で36.1ポイント改善し、前期比でも8.6ポイント改善した。

売上DI(増加－減少)については、11.8と対前年同期比で48.6ポイント改善し、前期比でも25.7ポイント改善した。

収益DI(増加－減少)については、8.8と対前年同期比で53.0ポイント改善し、前期比でも19.1ポイント改善した。

当期は、業況は改善し、売上・収益ともに大幅に改善した。

来期については、業況はやや悪化し、売上・収益とも悪化すると予想している。

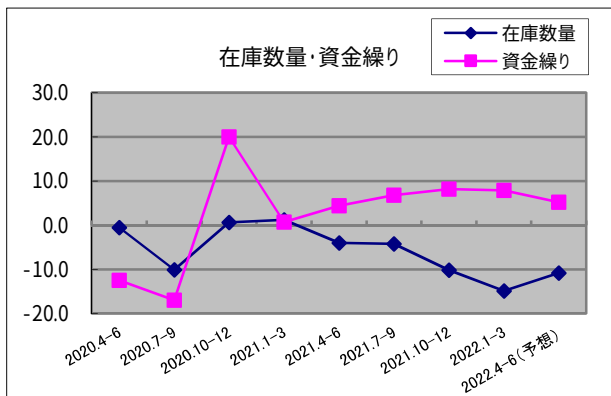


今期の販売価格DI(上昇－下降)は、14.0と対前年同期比で14.1ポイント上昇、また前期比では2.6ポイント低下した。

今期の仕入価格DI(上昇－下降)は、16.2と対前年同期比で10.4ポイント上昇、前期比では3.5ポイント低下した。

当期、販売価格・仕入価格ともにやや低下した。

来期については、販売価格は上昇し、仕入価格もやや上昇すると予想している。

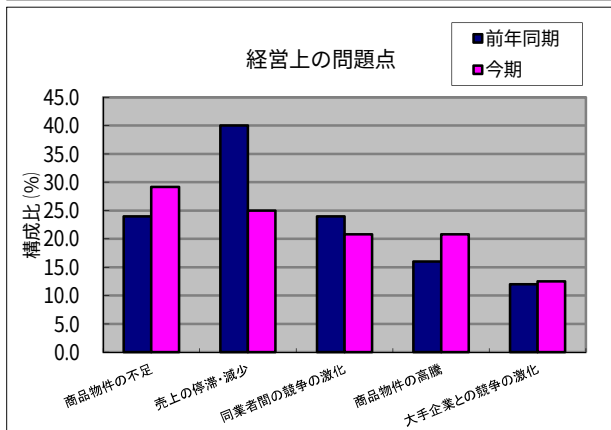


今期の在庫数量DI(過剰－不足)は、△14.9と前期に対して、4.7ポイント減少している。

今期の資金繰りDI(楽－苦しい)は、7.9と前期に対し0.3ポイント悪化している。

当期、在庫数量はやや減少し、資金繰りはわずかに悪化した。

来期の予想では、在庫数量は△10.8と4.1ポイント増加し、資金繰りは5.2と2.7ポイント悪化すると予想している。



経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。

第1位は「商品物件の不足」である。前年同期 24.0%、今期29.2%となっている(5.2ポイント増加)。

第2位は「売上の停滞・減少」である。前年同期40.0%、今期25.0%となっている(15.0ポイント減少)。

第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期24.0%、今期20.8%となっている(3.2ポイント減少)。

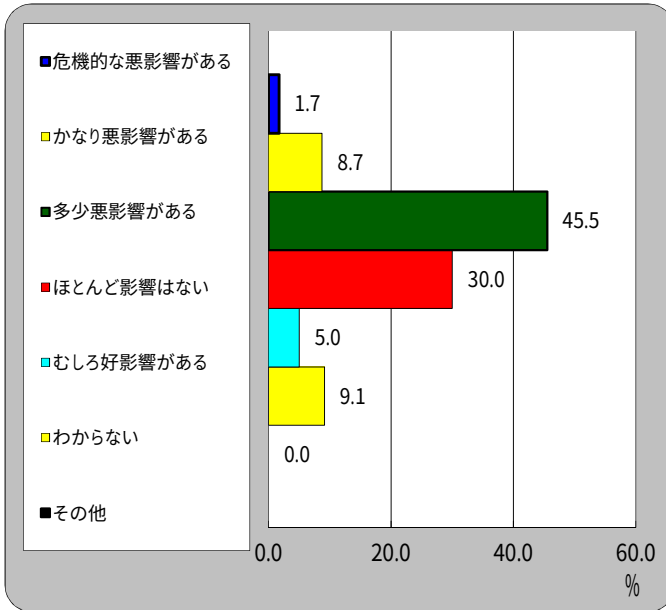
第4位は「商品物件の高騰」である。前年同期16.0%、今期20.8%となっている(4.8ポイント増加)。

第5位は「大手企業との競争の激化」である。前年同期12.0%、今期12.5%となっている(0.5ポイント増加)。

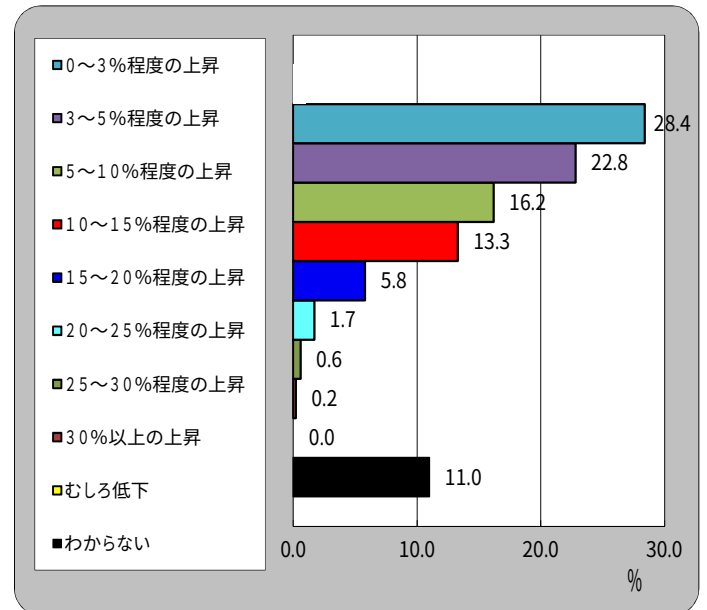
特別調査：原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について

《アンケートに回答いただいた全業種518先の調査結果です》

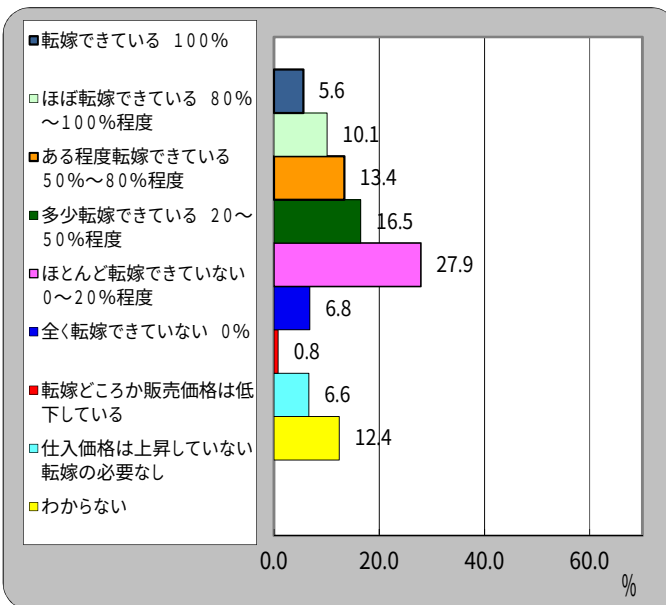
①原材料・仕入価格上昇による収益への影響



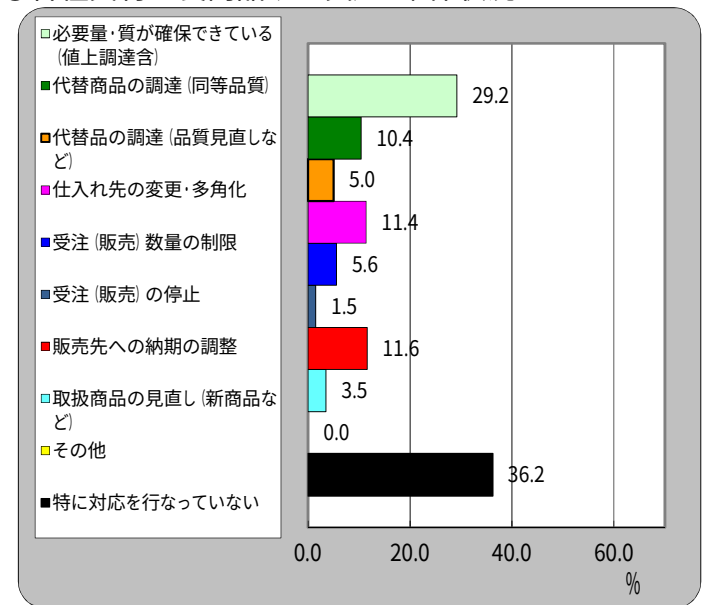
②原材料・仕入価格の1年前との比較



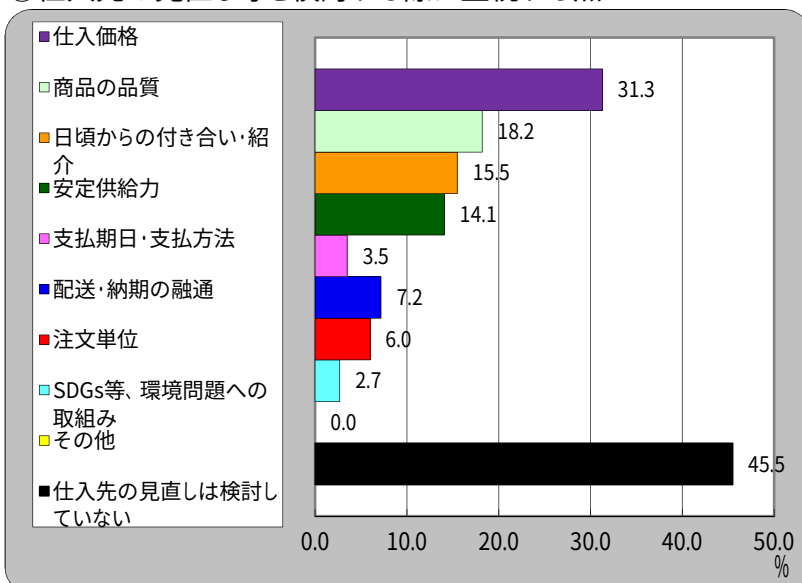
③原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合



④各種資材や製商品(量・質)の確保状況



⑤仕入先の見直し等を検討する際に重視する点



各種統計指数

	消費者物価指数 2020年＝100							
	全国		東京都区部		横浜市		川崎市	
	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比
		%		%		%		%
2021年2月	99.8	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.6	99.6	-0.5
2021年3月	99.9	-0.4	99.8	-0.4	99.7	-0.5	99.6	-0.7
2021年4月	99.1	-1.1	99.1	-1.2	99.1	-1.2	98.8	-1.5
2021年5月	99.4	-0.8	99.5	-0.9	99.4	-1.0	99.2	-1.1
2021年6月	99.5	-0.5	99.5	-0.5	99.5	-0.5	99.0	-1.0
2021年7月	99.7	-0.3	99.8	-0.4	99.8	-0.4	99.4	-0.8
2021年8月	99.7	-0.4	99.8	-0.4	99.9	-0.3	99.3	-1.0
2021年9月	100.1	0.2	100.1	0.3	100.0	0.3	99.5	-0.3
2021年10月	99.9	0.1	99.9	0.1	99.8	0.1	99.3	-0.5
2021年11月	100.1	0.6	100.0	0.5	99.9	0.4	99.4	-0.1
2021年12月	100.1	0.8	100.1	0.8	99.9	0.6	99.6	0.3
2022年1月	100.3	0.5	100.3	0.6	100.4	0.4	99.8	-0.2
2022年2月	100.7	0.9	100.7	0.9	100.6	0.9	100.2	0.6
2022年3月	101.1	1.2	101.1	1.3	101.1	1.4	100.4	0.8

(出典：総務省統計局)

		国内企業物価指数 2015年平均＝100		景気動向指数DI DIが50%を上回ると拡張基調		
		総平均	対前年	先行指数 (%)	一致指数 (%)	遅行指数 (%)
2021年2月	確報	101.3	-0.6	86.4	70.0	38.9
2021年3月	確報	102.3	1.2	81.8	60.0	50.0
2021年4月	確報	103.2	3.7	90.9	90.0	100.0
2021年5月	確報	103.9	4.9	81.8	90.0	83.3
2021年6月	確報	104.8	5.2	81.8	60.0	66.7
2021年7月	確報	106.0	5.8	81.8	70.0	55.6
2021年8月	確報	106.2	5.9	54.5	30.0	66.7
2021年9月	確報	106.6	6.5	45.5	45.0	61.1
2021年10月	確報	108.2	8.4	45.5	10.0	33.3
2021年11月	確報	108.9	9.2	36.4	20.0	33.3
2021年12月	確報	109.1	8.9	63.6	90.0	44.4
2022年1月	確報	110.1	9.3	63.6	80.0	66.7
2022年2月	確報	111.1	9.8	50.0	100.0	50.0
2022年3月	確報	112.0	9.7	44.4	12.5	100.0

(出典：日本銀行)

(出典：内閣府)

着工新設住宅戸数(戸)		
	東京都	神奈川県
2021年1月	10,540	5,419
2021年2月	9,720	4,630
2021年3月	13,706	5,419
2021年4月	12,332	4,557
2021年5月	11,697	6,489
2021年6月	11,731	6,256
2021年7月	11,713	4,951
2021年8月	11,062	5,410
2021年9月	10,160	4,926
2021年10月	12,649	5,601
2021年11月	9,619	5,163
2021年12月	10,639	5,932
2022年1月	9,345	6,081
2022年2月	11,585	5,436

(出典：国土交通省)

内閣府月例経済報告／基調判断の変化	
2021年4月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。
2021年5月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
2021年6月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
2021年7月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
2021年8月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
2021年9月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところテンポが弱まっている。
2021年10月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。
2021年11月	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。
2021年12月	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。
2022年1月	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。
2022年2月	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。
2022年3月	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

(出典：内閣府)

店舗一覧

充実の店舗網

東京都内・川崎市・横浜市に 63 店舗

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
港区	本店営業部	108-0073	港区三田5-21-5	03-3444-1112
	東京港	105-0014	港区芝2-29-10	03-3451-8251
	芝浦	108-0023	港区芝浦3-6-3協栄ビル1階	03-3454-5181
	麻布	106-0045	港区麻布十番4-1-9	03-3451-3710
	麻布十番出張所	106-0045	港区麻布十番2-14-3	03-3456-8550
	日比谷	105-0003	港区西新橋2-8-6 住友不動産 日比谷ビル1階	03-3437-3710
	赤坂	107-0052	港区赤坂2-13-2赤坂SSビル	03-3585-3710
	六本木	106-0032	港区六本木7-8-8	03-3403-3710
	青山	107-0062	港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1階	03-3400-3710
目黒区	学芸大学駅前	152-0004	目黒区鷹番3-19-18	03-3711-2171
	中目黒駅前	153-0051	目黒区上目黒1-18-6 NMビル2階	03-3791-3371
	目黒	153-0064	目黒区下目黒1-1-11 目黒東洋ビル1階	03-3492-6541
	碑文谷	152-0002	目黒区目黒本町6-19-18	03-3793-4511
品川区	大井	140-0015	品川区西大井2-20-12	03-3777-4401
	品川	140-0001	品川区北品川11-22-15	03-3471-4791
	南品川出張所	140-0004	品川区南品川6-6-3	03-3474-4811
	戸越銀座	142-0041	品川区戸越1-19-23	03-3783-6511
	小山出張所	142-0062	品川区小山3-7-12	03-5498-3721
	二葉出張所	142-0043	品川区二葉2-14-9	03-3785-3101
	不動前出張所	141-0031	品川区西五反田5-12-3	03-3779-2751
	立会川	140-0013	品川区南大井4-2-5	03-3764-7101
世田谷区	世田谷	157-0073	世田谷区砧3-2-6	03-3415-1146
	喜多見	157-0067	世田谷区喜多見8-16-10	03-3417-1651
	上野毛	158-0093	世田谷区上野毛1-14-5	03-3703-2111
中央区	東日本橋	103-0001	中央区日本橋小伝馬町14-4	03-3661-9751
	銀座	104-0061	中央区銀座6-14-5 銀座ホウライビル3階	03-5565-0530
	日本橋	103-0025	中央区日本橋茅場町3-10-9	03-3667-6011
新宿区	新宿	162-0052	新宿区戸山2-33-109	03-3204-1271
	四谷	160-0004	新宿区四谷3-5	03-3351-4186
	牛込	162-0825	新宿区神楽坂6-38	03-3260-0241
渋谷区	渋谷	150-0011	渋谷区東2-17-14	03-5485-3710
	恵比寿駅前 (店舗内店舗)			03-5485-3755
	広尾白金	150-0013	渋谷区恵比寿3-46-7 シティハウス広尾南1階	03-3444-3710
	広尾出張所	150-0012	渋谷区広尾5-19-10 ウイルハギヤビルディング1階	03-5447-6810
	新宿西	151-0071	渋谷区本町3-43-3	03-3376-9111
稲城市	稲城	206-0801	稲城市大丸200	042-377-3811
	矢野口	206-0812	稲城市矢野口1674	042-378-2961

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
大田区	大森中央	143-0024	大田区中央6-29-4	03-3754-1331
	下丸子	146-0092	大田区下丸子3-8-13	03-3756-5571
	雪谷	145-0065	大田区東雪谷3-31-4	03-3748-6660
	大森	143-0012	大田区大森東4-3-10	03-3761-9191
	美原	143-0012	大田区大森東1-9-14	03-3761-9161
	羽田	144-0047	大田区萩中2-2-1	03-3742-0411
	糎谷駅前出張所	144-0034	大田区西糎谷4-14-14	03-3743-8911
	蒲田	146-0095	大田区多摩川11-26-17	03-3758-1261
	穴守	144-0043	大田区羽田4-20-10	03-3744-4511
	大森南	143-0013	大田区大森南3-17-12	03-3745-3711
	糎谷	144-0034	大田区西糎谷1-15-17	03-3745-2371
	大森西	143-0015	大田区大森西5-9-3	03-3768-3601
	梅屋敷出張所	143-0015	大田区大森西6-15-10	03-3766-4111
	京浜島	143-0003	大田区京浜島2-9-1	03-3790-2611
	東糎谷	144-0033	大田区東糎谷4-1-1	03-3741-7111
	六郷	144-0045	大田区南六郷2-7-23	03-3730-4871
	北馬込 荏原 (店舗内店舗)	143-0021	大田区北馬込2-47-1	03-3778-2291 03-3778-2293
	調布市 調布	182-0035	調布市上石原1-31-16	042-482-6193
	多摩川	182-0023	調布市染地3-1-253	042-483-4011
日野市	高幡不動	191-0031	日野市高幡17-7	042-592-7111
川崎市	川崎	210-0837	川崎市川崎区渡田1-1-10	044-366-1234
	鷺沼	216-0004	川崎市宮前区鷺沼3-1-28 メゾン・オークボ1・2階	044-866-8451
	平間	211-0014	川崎市中原区田尻町66-1	044-555-3821
横浜市	高田	223-0065	横浜市港北区高田東4-24-41	045-546-0431
	新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町1738	045-545-2931
ATMコーナー				
港区	六本木6丁目出張所	106-0031	港区六本木6-3-1六本木ビル 地下1 F	
	赤坂通り出張所	107-0052	港区赤坂5-4-11山口建設第二ビル	
	四の橋出張所	108-0072	港区白金3-2-5	
品川区	戸越銀座出張所	142-0041	品川区戸越1-15-20	
	戸越公園出張所	142-0041	品川区戸越5-7-17トレッサ戸越公園ビル1階	
	荏原出張所	142-0064	品川区旗の台3-13-5こづちやビル1階	
大田区	ビッグファン平和島出張所	143-0006	大田区平和島1-1-1ビッグファン平和島1 F	
	大森北出張所	143-0016	大田区大森北4-26-13	
	大田中央出張所	143-0024	大田区中央3-21-9	
	南蒲田出張所	144-0035	大田区南蒲田3-8-27	
	ミズミ新糎谷店出張所	144-0047	大田区萩中2-12-5ミズミ新糎谷店1 F	
	渋谷区 代々木公園出張所・ 代々木公園プラザ	151-0063	渋谷区富ヶ谷1-43-7	
目黒区	中目黒出張所	153-0051	目黒区上目黒1-19-10	
	目黒出張所	153-0064	目黒区目黒2-10-8	
新宿区	新宿出張所	160-0022	新宿区新宿3-3-2京王新宿三丁目第二ビル1階	
稲城市	稲城市立病院出張所	206-0801	稲城市大丸1171稲城市立病院2階	

編集・発行

(2022年5月2日現在)

コンサルティングセンター

〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1

電話：03(3742)0626

さわやかに まごころをこめて



さわやか信用金庫

